

中小企業動向調査

この調査は富山県内企業373社を対象に実施し、264社より回答があり、その結果をまとめたものである。

企業の調査資料として、平成26年1月～3月の実績、平成26年4月～6月の見込み、平成26年7月～9月の先行き見通しを集約した概要である。なお、季節調整は行っていない。

調査時期：平成26年3月下旬

	調査対象企業数	有効回答企業数	有効回答率
製 造 業	165	122	73.9%
非 製 造 業	208	142	68.3%
計	373	264	70.8%

日銀が5月14日に公表した、北陸の金融経済月報（2014年5月）によると、「北陸の景気は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響を受けつつも、穏やかに回復している。

最終需要をみると、個人消費は基調として穏やかにもち直している。また、設備投資は持ち直しが明確になっているほか、公共投資は増加傾向を維持している。住宅投資は駆け込み需要の反動減がみられる。

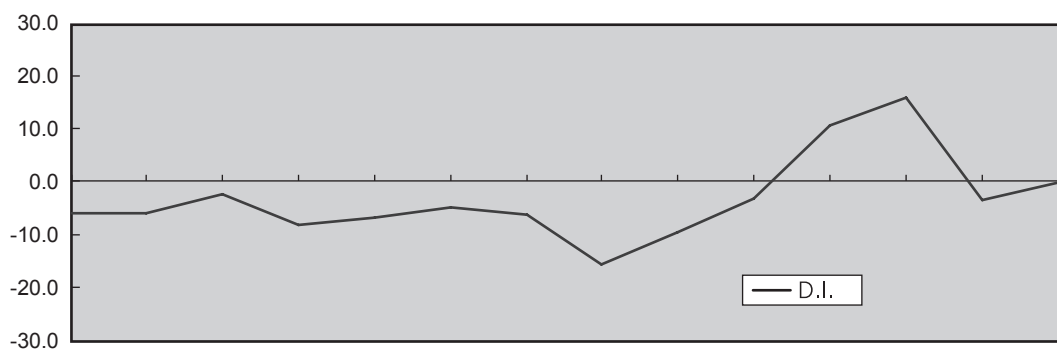
先行きについては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響を受けつつも基調として穏やかな回復を続けていくとみられる。」としている。

I. 企業概況

企業概況の推移……（全産業）

(%) 見込 予測

期別 種別	23 年			24 年			25 年				26 年			
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
良 い	19.4	15.4	17.9	15.1	14.3	14.7	15.7	10.4	14.2	13.7	24.3	26.7	12.6	11.9
普 通	55.4	63.2	61.8	61.6	64.6	65.8	62.5	63.7	62.2	69.6	62.0	62.6	71.3	76.2
悪 い	25.2	21.4	20.3	23.3	21.1	19.5	21.8	25.9	23.6	16.7	13.8	10.7	16.1	11.9
D . I .	-5.8	-6.0	-2.4	-8.2	-6.8	-4.8	-6.1	-15.5	-9.4	-3.1	10.5	16.0	-3.4	0.0

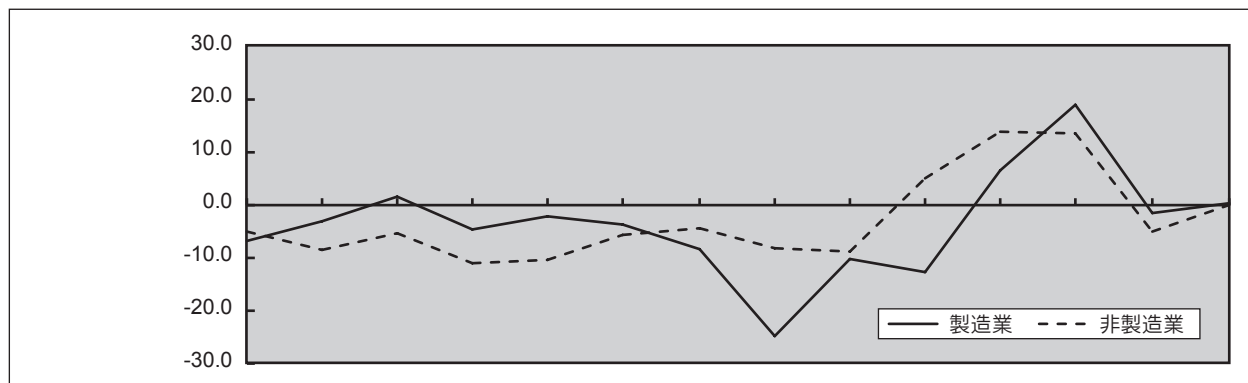


企業概況の推移……（うち製造業のみ）

期別 種別		23 年			24 年			25 年				26 年			
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
良	い	20.8	17.1	21.6	19.4	16.2	15.3	13.6	6.2	16.8	10.5	21.6	28.9	15.0	12.5
普	通	51.5	62.5	58.2	56.6	65.4	65.6	64.4	62.8	56.0	66.2	63.2	61.2	68.3	75.0
悪	い	27.7	20.4	20.1	24.0	18.5	19.1	22.0	31.0	27.2	23.3	15.2	9.9	16.7	12.5
D . I .		-6.9	-3.3	1.5	-4.7	-2.3	-3.8	-8.5	-24.8	-10.4	-12.8	6.4	19.0	-1.7	0.0

企業概況の推移……（うち非製造業のみ）

期別 種別		23 年			24 年			25 年				26 年			
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
良	い	18.2	13.9	15.0	11.7	12.8	14.3	17.5	13.7	12.0	16.3	26.5	24.8	10.6	11.4
普	通	58.7	63.9	64.7	65.6	64.0	65.8	60.8	64.4	67.3	72.5	60.9	63.8	73.8	77.1
悪	い	23.1	22.3	20.4	22.7	23.2	19.9	21.7	21.9	20.7	11.3	12.6	11.3	15.6	11.4
D . I .		-5.0	-8.4	-5.4	-11.0	-10.4	-5.6	-4.2	-8.2	-8.7	5.0	13.9	13.5	-5.0	0.0



(1) こうした北陸の状況の中で富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い－悪い」の26年1～3月期実績は16.0と前期比5.5ポイント改善した。

先行きについて、26年4～6月期のD.I.は▲3.4、26年7～9月期のD.I.は0.0と悪化する予想となっている。

例年は、1～3月は悪化するが、26年1～3月は前期比改善となっている。

しかし、先行きの、4～6月は大幅悪化の見込みとなっている。

(2) 業況判断指数D.I.の26年1～3月期を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は前期より12.6ポイント、改善した。非製造業は前期より0.4ポイント悪化した。

先行きについては26年4～6月期はどちらも悪化予想となっている。しかし、7～9月期には、改善予想となっている。

II. 売上高状況

売上高状況

(%) 見込 予測

種別 \ 期別	23 年			24 年			25 年			26 年				
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
増加	35.8	33.9	36.5	30.0	33.5	26.3	28.4	22.3	30.6	32.3	43.1	53.0	23.3	21.0
横ばい	36.6	39.8	35.9	41.4	40.3	46.4	44.7	45.2	42.1	45.9	39.9	33.2	57.3	68.2
減少	27.7	26.3	27.5	28.6	26.3	27.3	26.9	32.6	27.4	21.7	17.5	13.8	19.4	10.7
D. I.	8.0	7.5	9.1	1.3	7.2	-1.0	1.5	-10.3	3.2	10.5	28.6	39.3	3.8	10.3

売上高状況（うち製造業のみ）

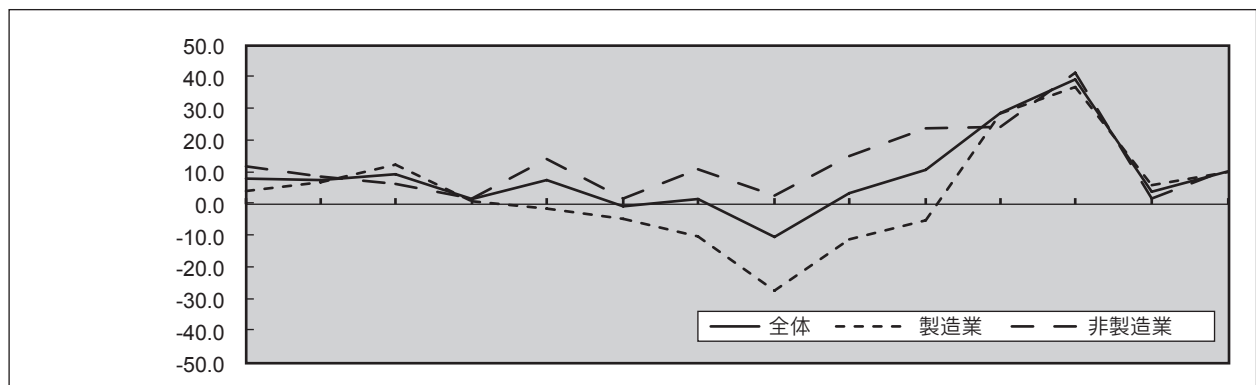
(%) 見込 予測

種別 \ 期別	23 年			24 年			25 年			26 年				
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
増加	34.0	33.6	36.2	27.9	28.0	24.4	24.5	12.3	22.8	25.3	46.0	53.3	23.8	22.1
横ばい	35.9	39.5	39.9	45.0	42.6	46.6	40.7	48.2	43.3	44.0	36.5	30.3	58.2	65.6
減少	30.1	27.0	23.9	27.1	29.4	29.0	34.8	39.5	33.8	30.6	17.5	16.4	18.0	12.3
D. I.	3.9	6.6	12.3	0.8	-1.6	-4.6	-10.2	-27.2	-11.0	-5.2	28.6	36.9	5.7	9.8

売上高状況（うち非製造業のみ）

(%) 見込 予測

種別 \ 期別	23 年			24 年			25 年			26 年				
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
増加	37.2	34.1	36.8	31.5	37.8	27.8	31.5	30.0	37.1	38.2	40.8	52.9	22.8	20.2
横ばい	37.2	40.1	32.7	38.7	38.4	46.3	47.9	42.9	41.1	47.5	42.8	35.7	56.4	70.5
減少	25.6	25.8	30.4	29.8	23.8	25.9	20.6	27.2	21.8	14.4	16.4	11.4	20.7	9.3
D. I.	11.6	8.4	6.4	1.8	14.0	1.9	11.0	2.7	15.2	23.8	24.3	41.4	2.1	10.8



- (1) 売上高は、前年同期比較での増減について回答を受けている項目である。今回調査では、D.I.は39.3となり、前期より10.7ポイント改善の回答となった。
先行きについては、26年4～6月期は悪化予想となっている。しかし、7～9月期の予想では、改善予想である。
- (2) 売上高状況D.I.を製造業と非製造業で分けると、製造業は前期比8.3ポイント改善、非製造業は17.1ポイント改善となっており、非製造業の改善ポイントが多かった。
先行きについては、どの業種も悪化予想となっている。

Ⅲ. 生産高・稼働率状況

生産高状況（製造業のみ）

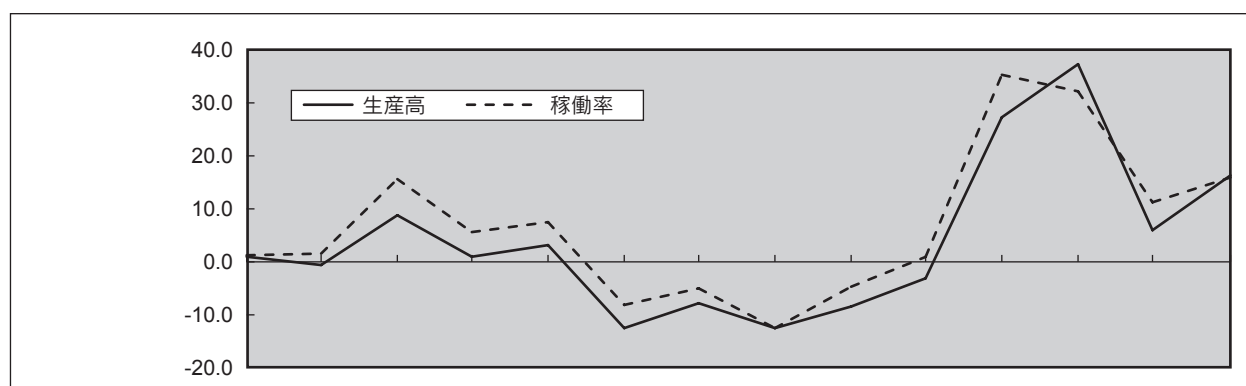
(%) 見込 予測

期別 種別	23 年			24 年			25 年			26 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
20%以上増加	11.9	6.7	6.5	6.1	5.6	4.7	5.1	0.9	5.5	3.9	7.4	13.6	0.0	0.0
20%未満増加	19.8	21.5	28.1	22.1	25.0	17.2	20.5	19.6	17.2	19.5	33.1	38.1	21.2	23.7
横ばい状況	37.6	43.0	39.6	44.3	41.9	43.8	41.0	46.4	46.1	50.0	46.3	33.9	63.6	68.6
20%未満減少	21.8	24.8	22.3	25.2	22.6	28.1	29.1	24.1	21.9	24.2	11.6	13.6	15.3	6.8
20%以上減少	8.9	4.0	3.6	2.3	4.8	6.3	4.3	8.9	9.4	2.3	1.7	0.8	0.0	0.8
D . I .	1.0	-0.7	8.6	0.8	3.2	-12.5	-7.7	-12.5	-8.6	-3.1	27.3	37.3	5.9	16.1

稼働率（製造業のみ）

(%) 見込 予測

期別 種別	23 年			24 年			25 年			26 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
上昇	12.1	5.6	7.4	6.4	4.9	5.7	6.1	0.9	4.7	4.0	8.6	12.9	0.9	0.9
やや上昇	19.2	20.1	29.6	21.6	25.2	13.9	10.2	17.9	16.5	20.0	33.6	33.6	23.1	23.5
横ばい	38.4	50.0	41.5	49.6	47.2	52.5	42.1	50.0	52.8	52.8	50.9	38.8	63.2	67.0
やや下降	20.2	19.4	18.5	19.2	19.5	22.1	27.2	23.2	15.7	20.0	5.2	14.7	12.0	7.0
下降	10.1	4.9	3.0	3.2	3.3	5.7	4.4	8.0	10.2	3.2	1.7	0.0	0.9	1.7
D . I .	1.0	1.4	15.6	5.6	7.3	-8.2	-5.3	-12.5	-4.7	0.8	35.3	31.9	11.1	15.7



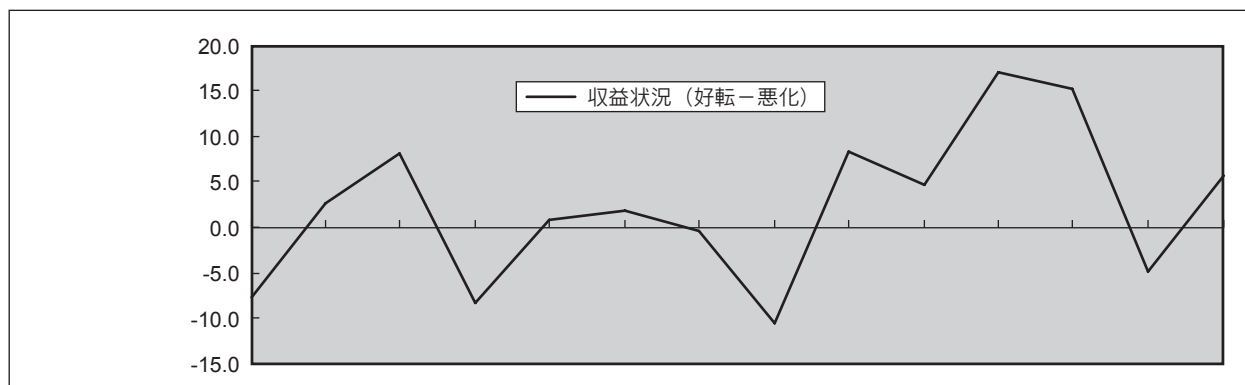
- (1) 生産高・稼働率ともに売上高と同様、前年同期比での増減について回答を受けている項目である。製造業の生産高状況D.I.は37.3となり、前期比10.0ポイント改善した。
生産高のD.I.は前期より改善により、ピーク更新となっている。
先行きについては、次期は悪化する予想となっているが、7～9月期には改善していく予想となっている。
- (2) 稼働率についても、前期よりやや悪化となっている。
先行きについても、生産高同様の推移であり、悪化予想となっている。

IV. 収益状況

収益状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

期別 種別	23 年			24 年			25 年			26 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
好 転	19.8	24.8	26.4	17.0	19.5	19.7	20.8	15.8	25.2	19.3	28.5	29.9	11.2	14.0
横 ば い	52.7	53.0	55.3	57.7	61.6	62.2	58.1	57.9	57.9	66.1	60.1	55.3	71.6	77.7
悪 化	27.5	22.3	18.3	25.3	18.9	18.0	21.1	26.3	16.9	14.6	11.4	14.8	16.7	8.3
D . I .	-7.7	2.5	8.0	-8.3	0.7	1.7	-0.4	-10.5	8.3	4.7	17.1	15.2	-4.9	5.7



好転理由

(%) 見込 予測

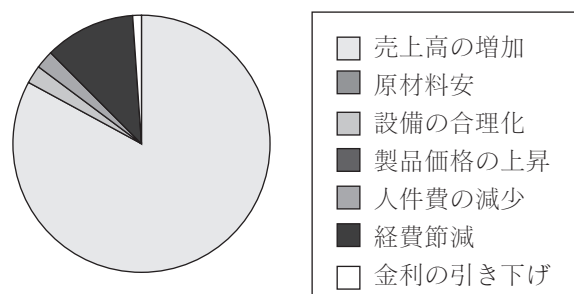
期別 種別	23 年			24 年			25 年			26 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
売上高の増加	60.0	76.0	73.5	66.2	67.6	64.4	70.8	61.8	64.5	72.5	82.1	83.0	70.0	75.0
原材料安	5.0	3.0	4.1	1.5	9.9	4.1	4.6	1.8	4.3	0.0	1.1	0.0	0.0	6.8
設備の合理化	6.7	2.0	1.0	0.0	0.0	1.4	3.1	1.8	3.2	4.3	3.2	2.3	7.5	4.5
製品価格の上昇	6.7	2.0	2.0	2.9	2.8	2.7	3.1	5.5	4.3	5.8	2.1	0.0	10.0	2.3
人件費の減少	5.0	3.0	3.1	4.4	2.8	6.8	0.0	7.3	4.3	4.3	4.2	2.3	0.0	0.0
経費節減	16.7	14.0	16.3	22.1	16.9	19.2	16.9	18.2	18.3	13.0	7.4	11.4	10.0	9.1
金利の引き下げ	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	1.4	1.5	3.6	1.1	0.0	0.0	1.1	2.5	2.3

悪化理由

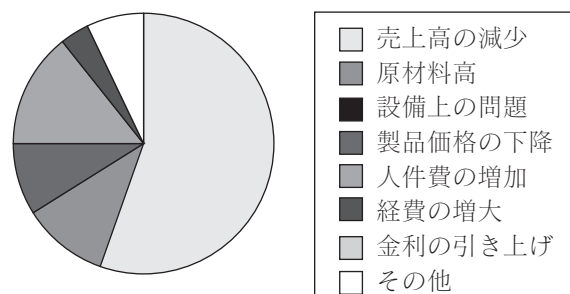
(%) 見込 予測

期別 種別	23 年			24 年			25 年			26 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
売上高の減少	53.7	56.1	50.0	55.6	59.2	56.8	51.3	66.3	62.5	48.4	53.5	55.4	60.9	43.2
原材料高	14.7	11.2	18.3	14.8	17.1	13.5	10.3	10.8	12.5	19.4	20.9	10.7	12.5	21.6
設備上の問題	1.1	2.0	1.2	0.9	0.0	1.4	3.8	1.2	0.0	6.5	0.0	0.0	0.0	2.7
製品価格の下降	10.5	9.2	11.0	8.3	6.6	14.9	11.5	4.8	7.8	4.8	7.0	8.9	6.3	2.7
経費の増大	6.3	12.2	8.5	11.1	5.3	9.5	12.8	9.6	9.4	6.5	14.0	14.3	9.4	18.9
人件費の増加	6.3	5.1	4.9	2.8	6.6	2.7	2.6	2.4	3.1	8.1	0.0	3.6	6.3	8.1
金利の引き上げ	1.1	1.0	0.0	0.9	0.0	1.4	0.0	0.0	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	2.7
その他	6.3	3.1	6.1	5.6	5.3	0.0	7.7	4.8	3.1	4.8	4.7	7.1	4.7	0.0

好転理由



悪化理由



(1) 収益状況「好転－悪化」D.I.は、前期比1.9ポイント悪化し、15.2となった。収益は、前期は大幅に好転となっていたが、やや悪化の回答となった。

先行きについては、マイナスポイントとなり、更に悪化予想となっている。

(2) 今期収益が好転した理由は、「売上高の増加」で83%で最も多く、次に「経費削減」となり、前期と同様となっている。好転理由の上記理由以外は、前期比減少となった。

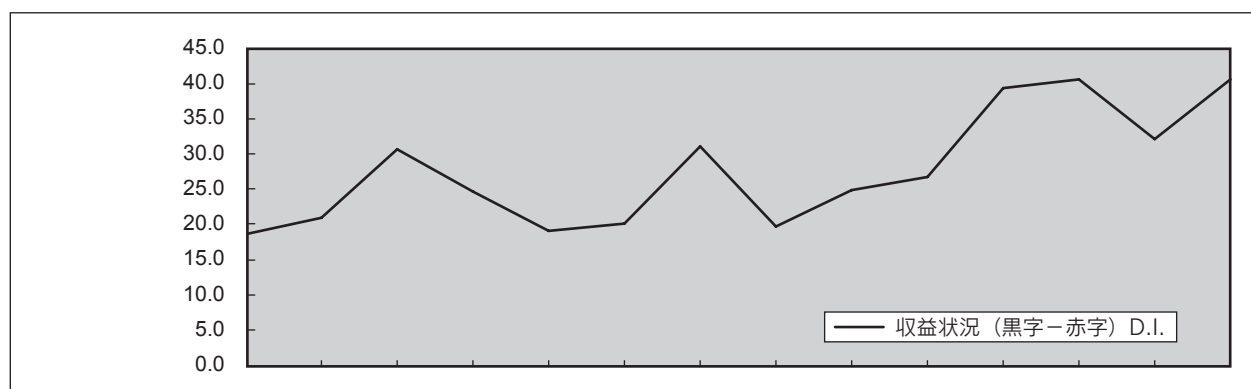
先行きについても理由の順位は、同様であるが、「製品価格の上昇」を好転理由とするポイントが増加となっている。

(3) 収益が悪化した理由では、「売上高の減少」とするポイントが55.4%、「経費の増大」が14.3%と高いポイントとなっている。

先行きについては、「原材料高」を理由とするポイントが、今期減少したが再び増加していく予想となっている。

収益状況（黒字－償却後赤字）

種別	期別																	
	23年			24年			25年			26年			見込			予測		
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
黒字	40.8	43.4	47.4	44.3	41.0	39.1	46.7	39.0	44.3	42.5	53.8	53.5	46.5	50.0				
収支トントン	37.2	34.2	35.9	36.0	36.9	41.9	37.7	41.7	36.3	41.8	31.8	33.7	39.1	40.7				
償却後赤字	22.0	22.5	16.8	19.7	22.1	19.0	15.6	19.3	19.4	15.8	14.4	12.8	14.3	9.3				
D.I.	18.8	20.9	30.6	24.6	19.0	20.1	31.1	19.7	24.9	26.7	39.4	40.7	32.2	40.7				



(4) 収益状況「黒字－償却後赤字」D.I.は40.7となり、前期比1.3ポイント改善となった。黒字とする企業は前期と同じであるが、赤字の企業が減少している。

先行きについてD.I.はやや悪化するが、7～9月期では今期と同じポイントとなり、改善を予想している。

V. 製品在庫水準

製品在庫水準

(%) 見込 予測

期別 種別	23 年			24 年			25 年			26 年				
	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月
不 足	7.1	4.5	1.3	3.8	3.9	2.5	2.9	0.9	3.6	5.2	4.6	3.2	3.3	2.8
適 正	80.2	87.1	90.4	87.4	89.3	91.5	92.3	91.5	88.8	91.3	89.9	90.3	92.6	94.8
過 剩	12.6	8.3	8.3	8.8	6.9	5.9	4.8	7.5	7.6	3.6	5.5	6.5	4.2	2.3
D . I .	-5.5	-3.8	-7.1	-5.0	-3.0	-3.4	-1.9	-6.6	-4.0	1.6	-0.9	-3.2	-0.9	0.5

製品在庫水準（うち製造業のみ）

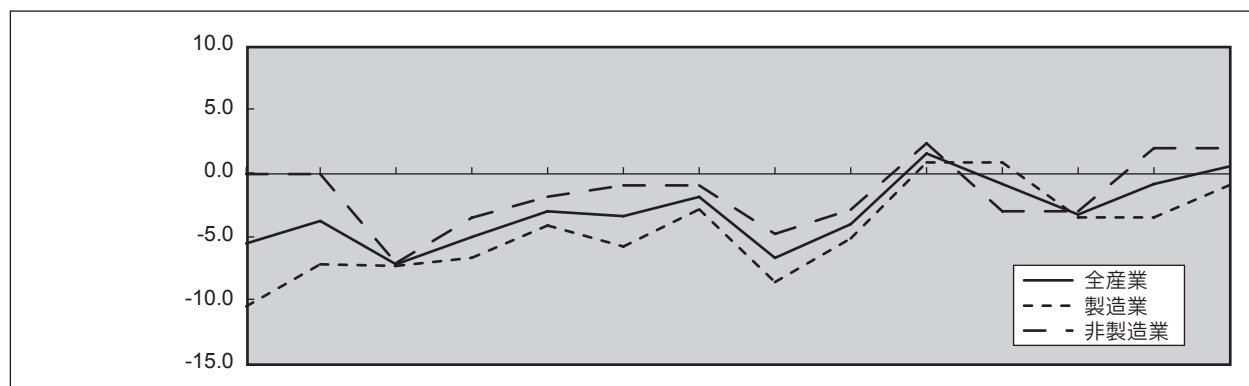
(%) 見込 予測

期別 種別	23 年			24 年			25 年			26 年				
	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月
不 足	6.3	4.3	1.6	4.1	2.5	1.6	2.8	1.9	5.1	6.3	5.2	3.5	2.7	2.7
適 正	77.1	84.4	89.6	85.1	91.0	91.0	91.7	87.7	84.7	88.3	90.4	89.4	91.2	93.7
過 剩	16.7	11.3	8.8	10.7	6.6	7.4	5.5	10.4	10.2	5.5	4.3	7.1	6.2	3.6
D . I .	-10.4	-7.1	-7.2	-6.6	-4.1	-5.7	-2.8	-8.5	-5.1	0.8	0.9	-3.5	-3.5	-0.9

製品在庫水準（うち非製造業のみ）

(%) 見込 予測

期別 種別	23 年			24 年			25 年			26 年				
	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月
不 足	8.1	4.9	0.9	3.4	5.4	3.5	3.0	0.0	1.9	4.0	3.9	2.9	3.9	2.9
適 正	83.7	90.2	91.3	89.7	87.4	92.1	93.0	95.3	93.4	94.4	89.2	91.3	94.1	96.1
過 剩	8.1	4.9	7.8	6.8	7.2	4.4	4.0	4.7	4.7	1.6	6.9	5.8	2.0	1.0
D . I .	0.0	0.0	-7.0	-3.4	-1.8	-0.9	-1.0	-4.7	-2.8	2.4	-2.9	-2.9	2.0	2.0



(1) 全産業の製品在庫水準「不足-過剰」D.I.は、26年1~3月期は▲3.2となり、前期比2.3ポイント悪化となり、「過剰」とするポイントが高くなった。

先行きについては、改善の予想である。

(2) 業種別では、製造業のD.I.は▲3.5となり、前期比4.4%悪化となった。非製造業は前期と同じポイントとなり、在庫過剰の状況に変化はなかった。

先行きについては、製造業は、在庫過剰の予想であるが、非製造業は、在庫不足となる予想となっている。

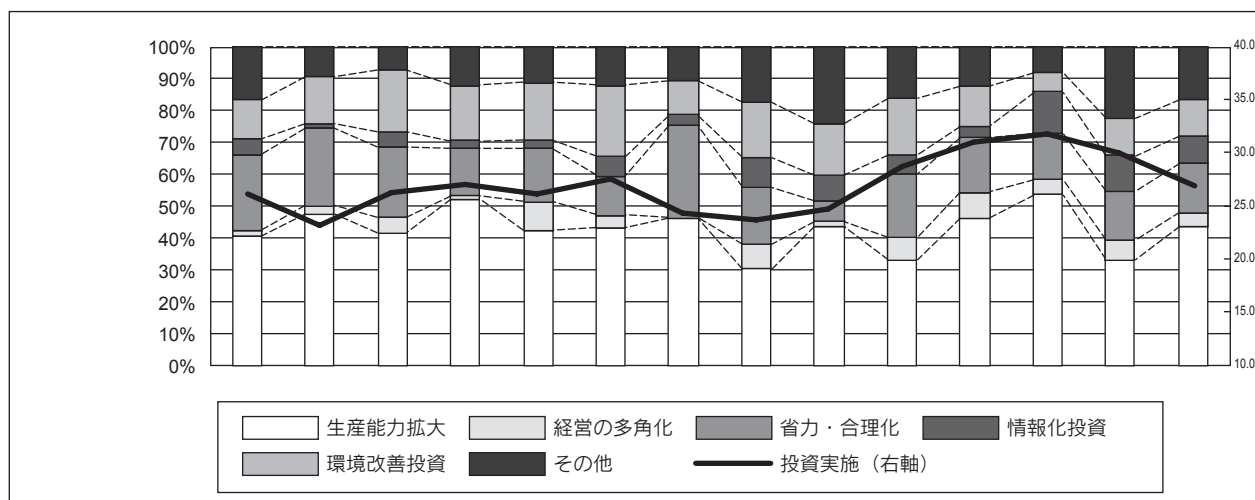
VI. 設備投資動向

設備投資の有無

		(%)															
		23年			24年			25年			26年			見込	予測		
種別	期別	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月		
	投資実施		26.1	23.2	26.3	27.0	26.2	27.6	24.4	23.7	24.7	28.7	31.0	31.8	30.0	26.9	
投資せず		73.9	76.8	73.7	73.0	73.8	72.4	75.6	76.3	75.3	71.3	69.0	68.2	70.0	73.1		

設備投資の目的（実施先について）

	(%)															
生産能力拡大	40.7	47.3	41.5	51.9	42.3	43.2	46.2	30.2	39.1	32.9	46.0	53.6	32.9	43.7		
経営の多角化	1.7	2.7	4.9	1.2	9.0	3.7	0.0	7.9	1.4	7.1	8.0	4.8	6.3	4.2		
省力・合理化	23.7	24.3	22.0	14.8	16.7	12.3	29.2	17.5	5.9	20.0	17.2	14.3	15.2	15.5		
情報化投資	5.1	1.4	4.9	2.5	2.6	6.2	3.1	9.5	7.2	5.9	3.4	13.1	11.4	8.5		
環境改善投資	11.9	14.9	19.5	17.3	17.9	22.2	10.8	17.5	14.5	17.6	12.6	6.0	11.4	11.3		
その他	16.9	9.5	7.3	12.3	11.5	12.3	10.8	17.5	21.7	16.5	12.6	8.3	22.8	16.9		



- (1) 今回調査では、設備投資を実施した企業は全産業の31.8%と、前期比0.8ポイント増加した。先行きの、26年4~6月では30.0%、7~9月では26.9%の企業が設備実施見込となっている。

実施の目的別では、前期に比べ「生産能力拡大」とするポイントが増加している。

また、「情報化投資」とするポイントも今期より増加してきている。

- (2) 業種別では、製造業「医薬品製造」「電子部品製造」「プラスチック」の順で設備投資のポイントが高い。

非製造業では、「鋼材建材販売」「医療福祉」が設備投資を行った企業が多い。

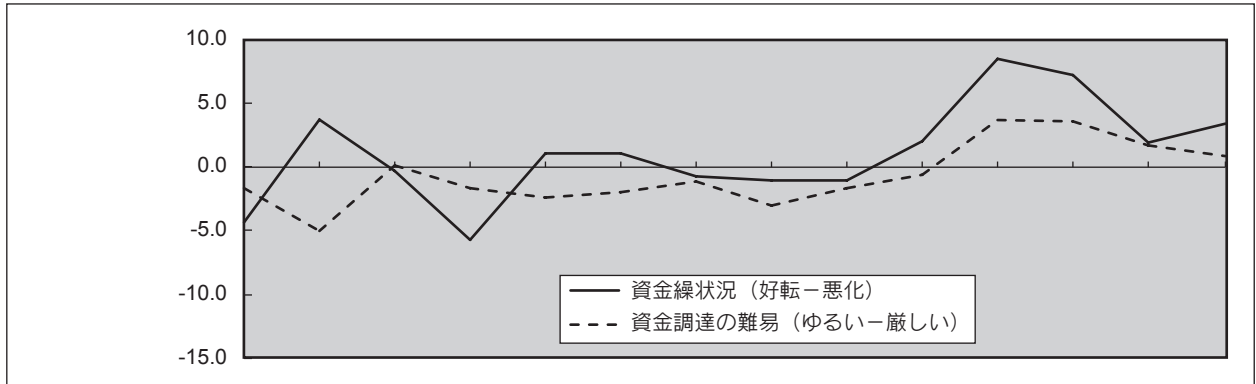
先行きについても、「医薬品製造」「プラスチック」の設備投資予定は高いポイントとなっている。

VII. 資金繰り状況

資金繰り状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

種別	23 年			24 年			25 年			26 年				
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
好転	11.5	10.0	9.9	7.0	11.8	10.9	9.5	8.6	10.1	8.8	13.9	14.1	9.9	8.7
変わらず	72.6	83.8	79.8	80.3	77.4	79.3	80.3	81.6	78.8	84.4	80.8	79.1	82.1	85.9
悪化	15.9	6.2	10.3	12.7	10.8	9.9	10.2	9.8	11.2	6.8	5.3	6.8	8.0	5.3
D . I .	-4.4	3.7	-0.3	-5.7	1.0	1.0	-0.8	-1.1	-1.1	2.0	8.5	7.2	1.9	3.4



資金調達の難易（ゆるい－厳しい）

(%) 見込 予測

種別	23 年			24 年			25 年			26 年				
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
ゆるい	11.8	10.1	12.6	12.5	12.3	10.8	11.3	11.7	11.4	11.1	14.8	14.3	13.6	12.2
厳しくない	74.7	74.8	74.8	73.3	73.0	76.3	76.3	73.4	75.3	77.1	74.2	74.8	74.3	76.5
厳しい	13.6	15.1	12.6	14.2	14.7	12.9	12.5	14.8	13.3	11.8	11.1	10.9	12.1	11.4
D . I .	-1.8	-5.0	0.0	-1.7	-2.5	-2.1	-1.2	-3.1	-1.8	-0.7	3.7	3.5	1.6	0.8

(1) 資金繰り状況D.I.「好転－悪化」実績は、7.2と前期比やや悪化となった。

資金繰り状況のポイントは、前期に過去3年間のピークとなり、資金繰りは安定しているとみえる。

先行きについては、26年4～6月期は今期より更に悪化予想となっている。

しかし、7～9月期には改善していく予想回答である。

(2) 資金調達の難易D.I.「ゆるい－厳しい」では、3.5となり、前期より0.2ポイント悪化となっている。

先行きについては、悪化予想であり、厳しいとのポイントが増加予想である。

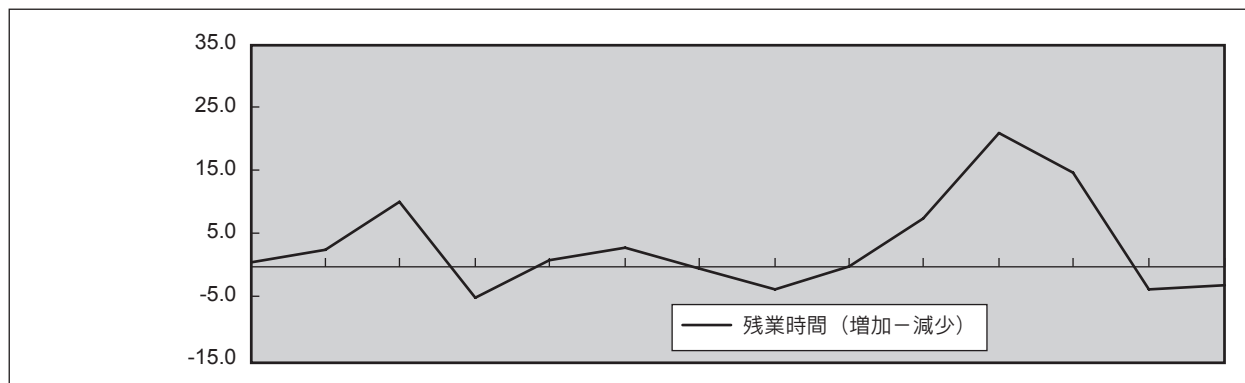
厳しいとのポイントが高い主な業種は、「繊維」「土木業」「宿泊業」「不動産業」となっている。

Ⅷ. 労務事情

残業時間

(%) 見込 予測

期別 種別	23 年			24 年			25 年			26 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
増加	20.0	16.9	20.1	14.8	12.7	13.3	12.7	12.0	13.3	15.4	26.3	23.6	9.8	6.1
横ばい	60.5	68.5	69.7	65.5	75.4	76.0	73.7	71.8	73.0	76.6	68.6	67.5	76.3	84.6
減少	19.5	14.6	10.2	19.7	11.9	10.6	13.6	16.2	13.7	8.1	5.1	8.9	13.9	9.3
D . I .	0.5	2.4	9.9	-4.9	0.8	2.7	-0.8	-4.1	-0.4	7.3	21.2	14.6	-4.1	-3.3

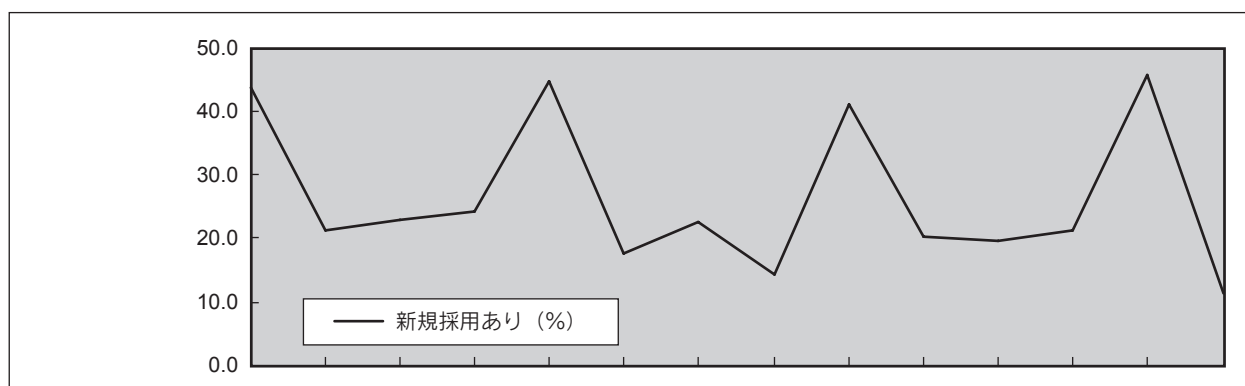


- (1) 残業時間D.I.は26年1～3月期14.6となり、前期比6.6ポイント減少した。
 残業時間は、減少傾向にある。先行きについても、減少予想となっている。

新規採用実績(採用あり：%) ※常用・臨時合算

(%) 見込 予測

期別 種別	23 年			24 年			25 年			26 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
全産業	43.7	21.3	22.9	24.0	44.6	17.7	22.6	14.3	40.9	20.3	19.6	21.2	45.8	11.4
(うち製造業)	42.2	17.6	18.6	20.0	48.9	17.6	16.1	13.6	40.2	20.0	18.1	23.8	45.1	9.8
(うち非製造業)	45.0	24.6	26.5	27.1	41.3	17.8	27.9	14.9	41.4	20.5	20.9	19.0	46.5	12.7

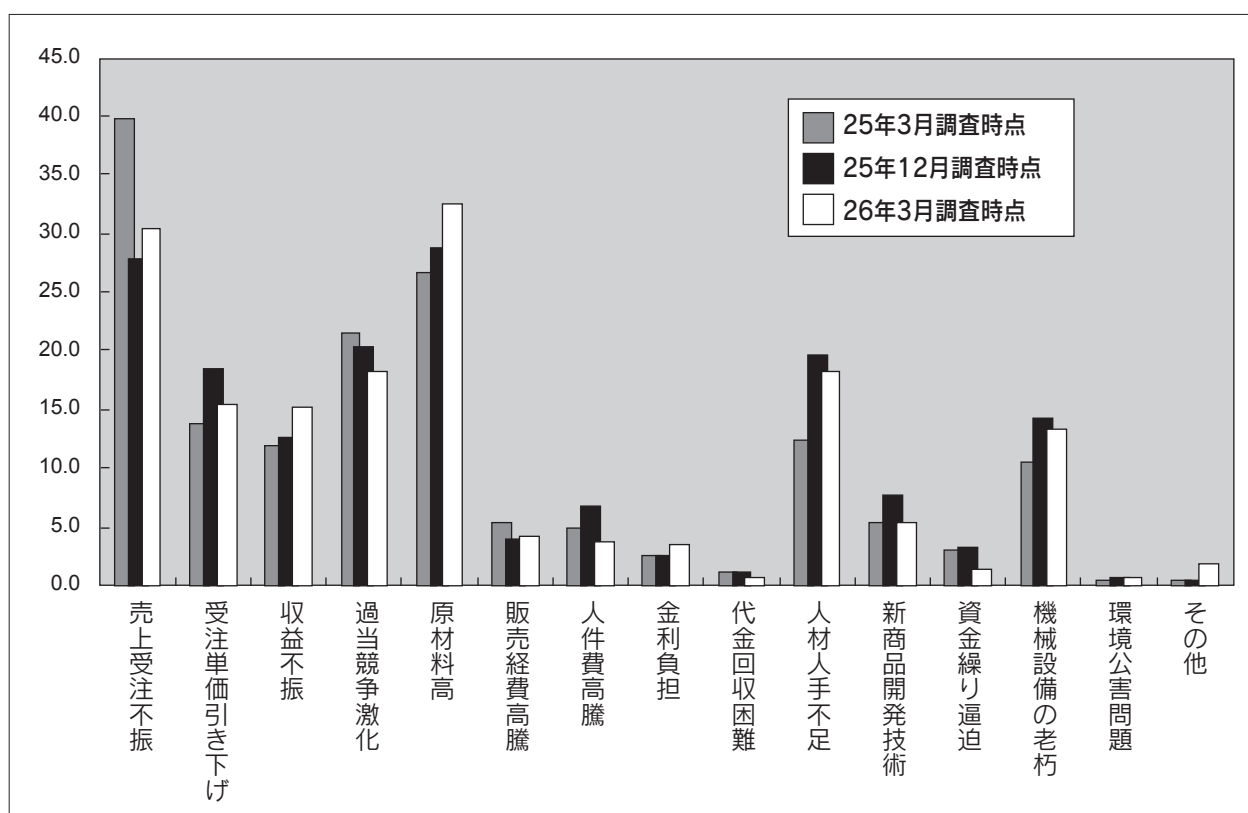


- (2) 新規採用集計は、常用雇用・臨時雇用合算で集計している。集計を見ると、前年同期に比べ、6.9ポイント増加している。製造業は10.2ポイント増加し、非製造業は4.1ポイント増加となっている。
 先行きについても、4～6月でも、4.9ポイント増加予想となっている。

IX. 当面の経営上の問題点

(%：複数回答あり)

	25年3月 (前年同期)	25年12月 (前回)	26年3月 (今回)	前回比増減		
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	39.8	27.8	30.3	(41.8)	(20.4)	2.5
受注単価引き下げ	13.9	18.5	15.5	(22.1)	(9.9)	-3.0
収益不振	12.0	12.5	15.2	(18.0)	(12.7)	2.7
過当競争激化	21.4	20.3	18.2	(9.8)	(25.4)	-2.1
原材料高	26.7	28.8	32.6	(32.8)	(32.4)	3.8
販売経費高騰	5.3	3.9	4.2	(0.0)	(7.7)	0.3
人件費高騰	4.9	6.8	3.8	(2.5)	(4.9)	-3.0
金利負担	2.6	2.5	3.4	(1.6)	(4.9)	0.9
代金回収困難	1.1	1.1	0.8	(0.8)	(0.7)	-0.3
人材人手不足	12.4	19.6	18.2	(12.3)	(23.2)	-1.4
新商品開発技術	5.3	7.8	5.3	(9.0)	(2.1)	-2.5
資金繰り逼迫	3.0	3.2	1.5	(0.0)	(2.8)	-1.7
機械設備の老朽	10.5	14.2	13.3	(18.0)	(9.2)	-0.9
環境公害問題	0.4	0.7	0.8	(0.8)	(0.7)	0.1
その他	0.4	0.4	1.9	(2.5)	(1.4)	1.5



- 今回の調査の全産業での当面の経営上の問題点をみると、①原材料高32.6%(前期比+3.8ポイント)、②売上受注不振30.3%(前期比+2.5ポイント)、③過当競争激化18.2%(前期比▲2.1ポイント)の順になっている。
- 今回調査でも、原材料高を問題点とする企業が高いポイントとなっている。また、収益不振を問題とするポイントが増加してきている。
- 原材料高を問題点として高いポイントとしている業種は、「窯業土石」「土木業」「建築業」「卸売業」となっている。人件費高騰を問題点とするポイントは減少してきている。

X. 為替変動に対する影響

項 目		見込 予測 (%)				
		25年7月~9月	25年10月~12月	26年1~3月	26年4~6月	26年7~9月
売上高	好 転	5.6	5.1	4.9	3.1	1.8
	悪 化	4.0	1.7	2.7	4.0	3.1
	影響なし	90.4	93.2	92.4	92.8	95.1
仕入高	好 転	1.2	2.1	1.8	1.8	0.5
	悪 化	15.1	17.2	13.1	10.9	10.4
	影響なし	83.7	80.7	85.1	87.3	89.1
営業利益	好 転	4.4	4.7	4.0	3.6	1.8
	悪 化	10.7	12.4	10.8	10.4	9.9
	影響なし	84.9	82.9	85.2	86.0	88.3

- (1) 為替変動について、売上高に影響があったと回答した企業は、前期に比べやや増加となった。
悪化したとのポイントが増加となっている。
先行きについても、悪化とする回答が増加している。
- (2) 仕入高については、影響ありとの回答は減少となった。
悪化したとの回答が、13.1%となり、前期より4.1ポイント減少した。
営業利益でも、影響が有りの回答が減少している。
営業利益では、悪化したとの回答が前期比1.6ポイント減少している。
- (3) 先行きについては、売上高の悪化予想は増加しており、仕入高の悪化予想は、減少予想である。